



# トピックス

平成30年 3月 9日

NO.110

## ～生かそう 3.11～



3月11日。東日本大震災が発生してから7年の月日  
が経ちました。本校でも児童に放送で以下のような話を  
行い、学級でスライドを使って担任より話をしました。



皆さんの中にも、覚えている人がいると思いますが、平成23年3月11日には、東北地方から関東までの広い範囲で大きな被害を受けた「東日本大震災」がありました。あれから7年が経とうとしています。

たくさんの尊い命が一瞬で奪われました出来事で、被害の大きかった東北地方では、雪が降っている中で救出に向かう人の姿が何度もテレビに映し出されました。何とか助かったけれども、学校や市の施設等の避難所や車の中で生活するしかない人がたくさん出ました。

松戸市内も大きな揺れを感じ、多くの場所で被害がありました。学校によっては、校庭の地面にひび割れのような亀裂の線が入ったり、校舎内の柱のコンクリートが剥がれ落ちたりしました。屋上に貯めておいた水槽の管が割れて、水が流れ出てしまったりした学校もありました。震災の時に別の学校の職員室いた先生は、先生方の机の引き出しがみんな飛び出している様子を見ました。廊下に出ると非常用扉のほとんどが勝手に閉まっていました。特別教室では、教室の端の方にあつた大きな戸棚が教室の真ん中まで移動したり、重い金庫までが動いたりしていました。それを見た時、地震の大きさと怖さを改めて実感しました。

大きな地震が、いつ起こるか分かりません。学校でもワンポイント避難訓練を何度も行っていますね。みなさん一人ひとりが「地震が起こった時に、まず安全な避難行動がとれる。そして揺れがおさまったら、安全な場所に避難する」ことが一番大切です。これからも「自分の身（命）は、自分で守る」気持ちで真剣に避難訓練等に参加しましょう。



